

# 1月も役立つ講座がいろいろ!

## シングルマザーの会

◆1月14日(日) 13:30~15:30  
 場所: 参画センター 相談室  
 参加費: 無料



## 子育ておしゃべりサロン

◆1月11日(木) 10:00~12:00  
 場所: 参画センター 学習研修室1  
 参加費: 無料



## コミュニケーション講座

◆2月10日(土) 13:30~15:00  
 「アンガーマネージメントで聞き上手、話し上手に」  
 講師: 谷川 由紀さん(アンガーマネージメントファシリテーター)  
 場所: 参画センター 定員: 先着30人  
 参加費: 無料 託児: あり、要予約



知ってる?

## 男女共同参画のキーワード

### セクハラって?

セクシュアルハラスメント(sexual harassment)は、日本語で「性的嫌がらせ(嫌がらせ=被害者が不快感や精神的な苦痛を感じるすべての行為)」という意味で用いられる言葉である。略してセクハラとも言われる。

セクシュアルハラスメントは、とくに新しい問題ではありません。ところが最近、米国では、テレビキャスター、ハリウッドスター、政治家など権力のある有名な男性によるセクハラ疑惑が次々と発覚し注目を集めています。そして、多くの女性が沈黙を破り、「Me Too(私も)」の合言葉とともにそれぞれの経験を語り始めました。セクハラは、時として被害女性の心と体の健康にさまざまな悪影響を与えることが明らかになっています。

ひと昔前なら、目上の男性社員が新卒の女性社員に飲み会で不適切なことを言ったりすることは、当たり前のようにあったはずですが、次第に「セクハラ」が世の中に知られるようになっていきました。

セクハラについては、これまで「環境型」と「対価型」という分類が一般的でした。「環境型」とは、「職場で卑猥な話題を大声で話す」「身体を触る」等の就業環境が望ましくない恒常的に続いている場合。「対価型」とは、例えば、「自分と性的関係を持てば昇進させてやる」性的な関係を拒んだ相手を解雇する等。しかし、他に「制裁型」と「妄想型」を付け

## 2月の予告

### 今年こそ働きたい人の準備講座

「自分に合う仕事の見つけ方、求人情報の見方など」

◆2月15日(木) 10:00~11:30  
 講師: 仁賀 順子さん(キャリアコンサルタント)  
 場所: 参画センター 学習研修室2  
 定員: 先着20人 参加費: 無料  
 託児: あり、1週間前までに要予約



### 男女が共に活躍するまちづくり講座&登録団体交流会

◆2月24日(土) 講演 13:30~15:30  
 「命の重みを感じたとき  
 ~国境なき医師団の活動から」

講師: 黒崎 伸子さん  
 (外科医・国境なき医師団監事・日本前会長)

場所: 参画センター 学習研修室全体  
 定員: 先着100人 参加費: 無料  
 託児: あり、要予約(×切2月17日)

★講演の後、登録団体交流会があります。  
 15:30~16:15(予定)



## 12月の行事から

12/6

### やさしい英語で 男女共同参画を学ぶ講座 外国・日本のクリスマスあれこれ

参加者数: 人 場所: 学習研修室3  
 講師: 高松トーストマスターズクラブ

今や12月のメインイベントのクリスマス。今回は「外国・日本のクリスマスあれこれ」をテーマに、世界10カ国の特色や、Christmas Word Search、Christmas Traditions Quiz などを楽しみながら学んだ。また、映像とともに「Wham -Last Christmas」を歌ったりした。最後に「New Year Resolution (新年の抱負)」の話し方の例文、単語などを学んだ。



12/21

### さんかく交流サロン おしゃべり忘年会

参加者数: 大人6人 子ども4人  
 場所: 学習研修室2

今年最後の「さんかく交流サロン」を開催。参加者は、子どもさん連れの20代から70代までの幅広い年代で、それぞれの今年1年に起こった10大ニュースを元に、楽しくおしゃべりした。(参加者の感想)「いろいろな人のニュースが聞けて楽しかったです」「若い人たちと交わって良かった」「1年を振り返る良いきっかけだった」等。



12/18

### 冬の親子のつどい — 木のおもちゃであそぼう!

参加者数: 親子9組 19人 託児協力者14人 職員2人 場所: 託児室

たくさんの木のおもちゃを託児協力者と「あそ viva ぶんぶん」さんが持ってきてくださったので、こどもたちだけでなく、大人も楽しむことができた。普段、託児タイムで使っているおもちゃと違い、自分たちで工夫しながら遊ぶことができた。(参加者の感想)「たくさんの木のおもちゃがあって、すごく楽しめた」「恥ずかしがっていた娘も遊んでもらううちに笑顔に。優しく話しかけてもらい、1人でクリスマスリースを作れ

ました。来年からは幼稚園なので、今日のことは、娘にとっても、親の私にとっても自信ができました。楽しい時間をありがとうございました。娘からひと言、「また来たいなあ」等。



## トピックス

### 「こども食堂」ってご存知ですか?

最近、ニュース等で聞く、「こども食堂」ってご存知ですか? 経済的な事情などにより、家庭で十分な食事がとれなくなった子どもに、無料もしくは安価な食事や居場所を提供する活動を行っている場所です。民間発の取り組みで、「こども食堂」や「こども食堂」の名前が使われ始めたのは2012年。朝日新聞の調査では、今年5月末で少なくとも全国に319カ所あり、県内で9カ所、高松市内には5カ所あります。

支援が必要な子が気軽に立ち寄るにはどうすればいいのか。先月末、こども食堂を運営する市内の関係者が集まり、課題を話し合いました。参加者からは「問題はどやって子どもたちに来てもらうか」「家庭の問題がデリケートで子どもへの声かけが難しい」といった声が多かったです。

一方、今年7月にオープンしたNPO「フードバンク高松」が運営する「こども食堂」。ひとり親家庭の子どもなど十数人がこれまでに訪れたが、思ったほど多くない。「チラシを置いてもらえるよう小学校にかけあったが、断られました。

子どもが気軽に集まれるような場所にしたいが、『子ども食堂に行くと貧困家庭だ』と思われるくない親が多いのかもしれない」とみえています。

- (高松市内のこども食堂)
  - 子ども食堂・こくぶんじ (☎090・9552・9396)  
 国分寺南部コミュニティセンター 毎月第4金曜日
  - ヒューマン・ハーバーこどもカフェ (☎090・7623・6496)  
 栗林コミュニティセンター 毎週水曜日
  - しうん子ども食堂 (☎090・2789・0248)  
 四番丁ふれあい会館 毎月第1・第3日曜日
  - 子ども食堂・瓦町 (☎087・835・0157)  
 NPO「フードバンク高松」高松市瓦町2丁目 毎月第2・第4水曜日
  - こどもとちょっと前のこどものこども食堂(☎非公開)  
 牟礼町浜北公民館 毎月第2・第4木曜日
- こども食堂が、みんなの居場所だということがわかってもらえることが、必要な課題だと思われます。

